

石垣島トライアスロン大会の再開に向けたモニタリング試走会

参戦記 (2014/05/25)

喜田 文雄、昌子

石垣市トライアスロン協会の呼びかけのもと、県内外から 30 名以上の精鋭アスリートが集結し、開催されました。

梅雨明けを思わせる快晴に恵まれ、気温は 30℃を越え、久しぶりに過酷な暑いレースを楽しめました。選手の皆様、その 2 倍以上の人数でお手伝いくださったボランティアの皆様、お疲れさまでした。そして、楽しい企画をありがとうございました。

試走会を振り返ります。

大会当日、石垣市トライアスロン協会会長宅で受付ののち、自走で、約 30km 離れた、北部の明石（あかいし）小学校前の明石海岸まで移動。

スイム会場の海は、珊瑚と熱帯魚が歓迎してくれる美しい海で、大会当日はべた凧で楽に泳げましたが、こんなのはまれで、もっと波が高いそうで、ラッキーでした。

バイクランジッションは、明石小学校の芝生のグラウンド。

こじんまりした、全校生徒十数名の小学校ですが、自転車マナー競技大会で連続日本一だそうです。大会側はビーチサンダルを用意してくださっていましたが、素足に芝生が心地良かったです。

バイクコースは、空港から市内への道路は交通量が多く、レースには使えない様で、空港手前から、右に山のほうに入り、アップダウンが多い、私好みのコースで大変気に入りました。美しい海岸線とは別の新たな魅力を発見しました。

ランコースは、競技説明会でおなじみの運動公園外周を 5 周回でした。



